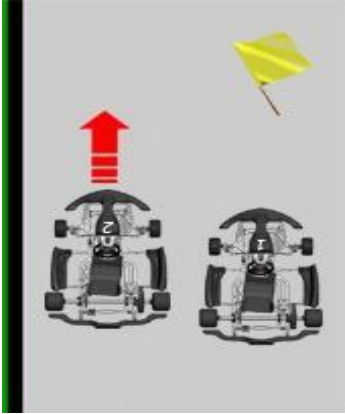
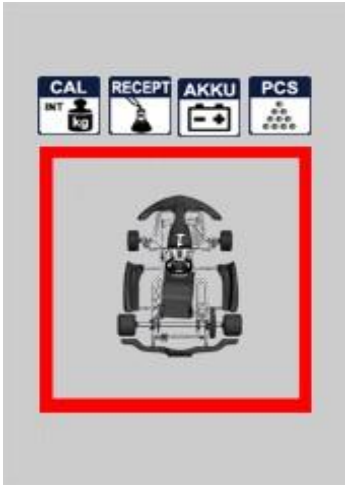
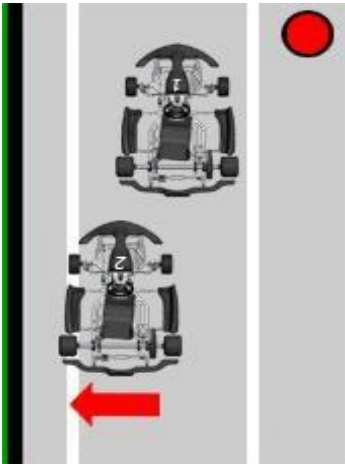



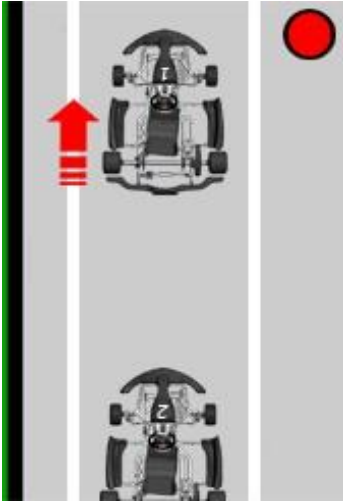
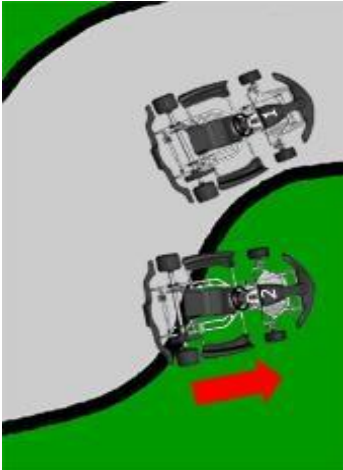
CAカートレースペナルティ規則書

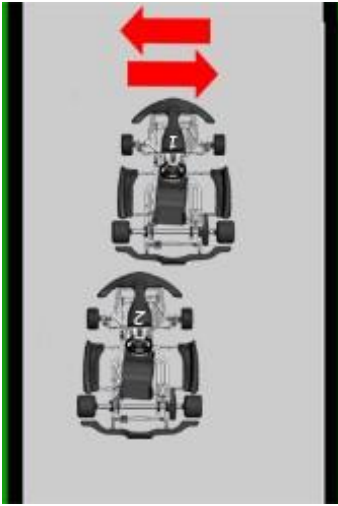
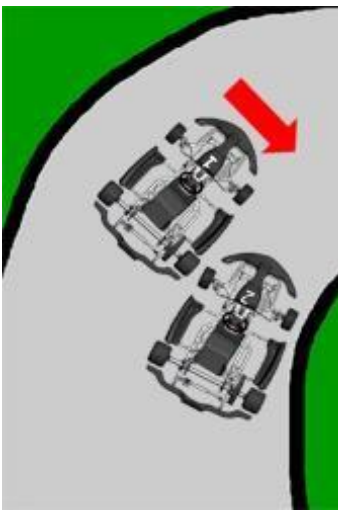
No	反則行為	解説	図解	秋ヶ瀬ペナルティ判断
R01	フラッグ無視	<p>コースオフィシャルや競技委員から提示された旗に従わないことをフラッグ無視とします。 これは、旗の種類、従わなかった理由、利益を得たか否かにかかわらず適用されます。</p> <p>一般的な違反は以下の通りです 1,黄旗区間での前車追い越しや減速せずに追い越しをかける行為 2,オレンジポール旗、黒旗提示を無視し、レースを続ける 3,青旗の振動に対しラインを譲らない 4,白黒旗の提示を受けても、その警告行為を直さない 5,その他</p> <p>※旗によってはドライバーサインを必ず出さなくてはなりません</p> <p>※ニュートラリゼーション開始の合図や黄旗、その他の指示旗や提示ボードを無視した場合も対象です。</p>		<p>1,予選ヒート決勝ヒートは1周減算。タイムトライアルは4秒加算。2回目はヒート失格。</p> <p>2,レース失格。</p> <p>3,嚴重注意</p> <p>4,同一ヒート2回目の白黒提示でヒート失格。</p>
R02	白黒旗	<p>1,ローリング隊列を乱すような行為には積極的に白黒旗が提示されます。 その対象者はスタート後の白黒旗と累積になることはありませんが、スタート後に、白黒旗を受けるような行為を2回繰り返した場合、黒旗が提示され、競技長の元に出頭し、確認後に競技裁定となります。 また、白黒旗は他のヒートにまたがって累積することはありません</p> <p>2,危険な行為、事故を招くような行為には積極的に白黒旗が提示されます。 再度、その行為が繰り返された場合、白黒旗が累積2回となり黒旗が提示され、対象者は競技長の元に出頭し、確認後に競技裁定となります。 白黒旗は他のヒートにまたがって累積することはありません</p>		<p>1回目：白黒旗（警告） 警告後連続して行われた場合、黒旗（ヒート失格）</p>

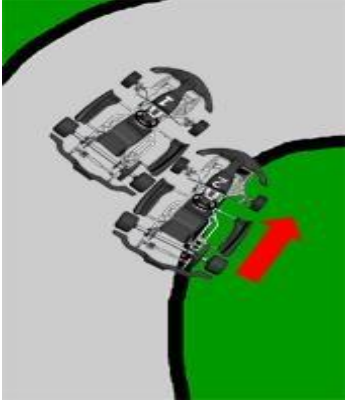
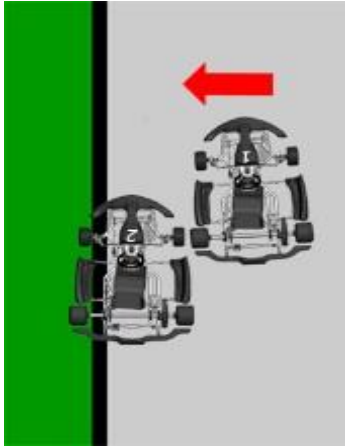
No	反則行為	解説	図解	秋ヶ瀬ペナルティ判断
R03	チェッカー旗 および ダブルチェッ カー	<p>1,チェッカー旗を受けたが、安全なスピードまで落とさない場合や前車を追い越した場合</p> <p>2,チェッカー旗を受け、レース終了となったにもかかわらず、再度、コントロールラインを通過し、チェッカー旗を2回受けた場合</p> <p>3,チェッカー旗を受けたあと、減速せずにスピンやコースアウト等をし、レースの進行を遅らせた場合</p>		<p>いずれの場合も、ヒート失格（SL規定に基づく） ※キッズ・バンビーノ、コマー・バンビーノは厳重注意</p>
R04	車両違反および 服装違反	<p>テクニカルレギュレーションに定められた全ての部品を装備していなかった場合を車両違反とします。 レース前、レース中、レース後、発生する時期は問いません。 同様に利益が有るか無いかも問いません。 ヒート後の車検時の状態を判断の基準とします。</p> <p>特徴的な違反は以下のものです</p> <p>1,重量不足</p> <p>2,間違った寸法や違反部品の使用等</p> <p>3,間違った燃料、違法オイル、クーラント使用、その他…</p> <p>4,タイヤへの加工、薬品の塗布など</p> <p>5,違法な改造</p> <p>6,ドライバーの安全装備義務違反</p> <p>7,吸気、排気装置のトラブルや脱落があっても、レースを止めなかった場合 ※この場合、安全上問題があると判断した場合、その限りではありません</p> <p>8,オレンジボール旗によって、レースを終えた場合</p> <p>9,その他</p>		<p>車両：ヒート失格 装備(6)：3ポジションダウン</p>

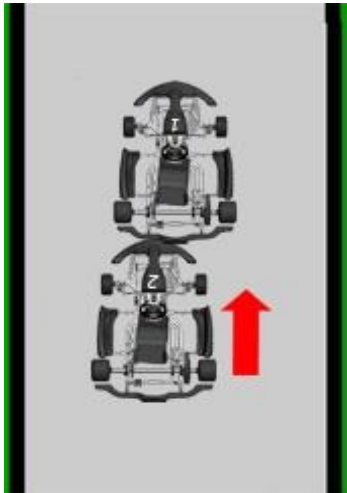
No	反則行為	解説	図解	秋ヶ瀬ペナルティ判断
R05	ローリング隊列違反およびヒーティング	<p>ローリング隊列のスピードを著しく乱す行為や、ローリング中の隊列を守れない走行、他車と接触しそうな激しいヒーティング行為やプッシング等によって競技進行を遅延させた場合。</p> <p>先頭の左右2台は隊列を守り、スピードを整える義務があります。コースマーシャルの旗による合図を確認しなくてはなりません。この義務を怠った場合ペナルティの対象となります。</p> <p>注1) ヒーティング行為のペナルティは、第3コーナーから対象となります。2列になる前のウオームアップ走行中のヒーティング行為は認めますが、危険とみなされる走行行為に対しては、ペナルティが課せられます。</p> <p>注2) 練習走行やタイムトライアル、ニュートラリゼーション中も対象です。</p>		<p>1回目：白黒（警告） 2回目：赤旗。対象車両に嚴重注意後、最後列への移動</p>
R06	スタート隊列違反	<p>スタート合図が出る前に、2番のカートのように、前方車両からカート車体以上がはみ出し、追い抜きの行為を早く始めることをスタート隊列違反とします。 ※フライングスタートともいう</p> <p>また、アクセルオンライン通過後、前方のカートが失速(前々車との間隔が1台以上開く場合)した場合や前車との衝突を避ける行為、車両トラブルで速度が上がらないカートをパスする行為は認められません。</p>		<p>レース中白黒旗（警告）提示、同ヒート終了後3ポジションダウン</p>

No	反則行為	解説	図解	秋ヶ瀬ペナルティ判断
R07	スタートディレイの赤旗起因	<p>スタート前のローリング隊列走行中、単なるドライバーの運転ミスや車両トラブルによって、競技を継続できないような原因を発生させ、赤旗によってスタートを遅延させた場合、その対象ドライバーは、再スタートの際、ピットスタートとします。</p> <p>また、対象ドライバーが複数いた場合のスタート順は、協議の上決定します。</p>		赤旗起因車両は、ピットロードに移動し、再スタート
R08	ポジション復帰禁止エリアでの復帰	<p>ローリング走行中、ポジション復帰禁止エリア（コース図に指定箇所表示あり）に入ってから、2番のカートのようにローリング中のカートを追抜き、自分のポジション復帰した場合。</p> <p>※ドライバーマナーとして、元のポジションに戻る場合には、しっかり手を上げ、他車にアピールし安全に復帰することを心がけてください。強引に入り込み、隊列を大きく乱したり、事故を招いた場合、危険行為と判断されます。また、ポジションを開けない行為はペナルティの対象とします。</p> <p>注意；前方のカートが車両トラブルで加速出来ないと判断した場合、その車両を抜いてもペナルティにはなりません。</p> <p><ローリングの隊列に大きく遅れた場合> 対象ドライバーに白地に赤 X 印のポジション復帰禁止ボードを提示します。提示されたドライバーはローリングの最後尾へ付かなければなりません。ミススタートや赤旗による再スタートの場合でもポジションは変わりません。</p>		<p>強引な復帰：同ヒート終了後、3ポジションダウン</p> <p>ポジション復帰禁止エリアでのポジション復帰：同ヒート終了後、5ポジションダウン</p>

No	反則行為	解説	図解	秋ヶ瀬ペナルティ判断
R09	ジャンプスタートおよびニュートラリゼーション解除後の再スタート違反	<p>下記項目をジャンプスタートとします。</p> <p>1,スタートが切られる直前に、1番のカートがアクセルを大きく踏みこみ1番のカートと2番のkartの間にかート1台分以上間隔が開くような行為の場合 2,リタイヤ等によって前方のkartがない場合の空席グリッドが確保されず、グリッド位置が前方につめられている場合 3,スタートする前に自発的にスタートポジションを上げた場合</p> <p>競技再開後の追い越しは、コントロールラインを過ぎなくてはならず、ライン手前で追い越しをした場合、再スタート違反ペナルティとなります。</p> <p>※1番のkartが元の位置に戻った場合やスタートが切られなかった場合は、ジャンプスタートとみなしません。</p>		<p>軽度：白黒旗（警告） 重度：同様の行為が繰り返される場合は赤旗（ヒート中断）、嚴重注意後最後列へのポジションダウン</p>
R10	ショートカット	<p>2番のkartのようにコースから完全に外れ、走行距離が短くなった場所から再びコースに復帰することをショートカットとします。</p> <p>ペナルティの判断</p> <p>1,2番のkartが順位を上げるか、その周回タイムが明らかに速かった場合 2,1番のkartまたは、その他のkartが2番のkartが復帰することで被害を被った場合 3,1番のkartまたは、その他のkartが2番のkartが復帰することで順位を下げたり、リタイヤした場合</p> <p>※停止しているkartやトラブルで失速したkartとの接触を避ける場合はこの限りではありません。</p>		<p>軽度：白黒旗（警告）、同様の行為が繰り返される場合は黒旗（ヒート失格） 重度：意図的、悪質な場合は黒旗（ヒート失格）</p>

No	反則行為	解説	図解	秋ヶ瀬ペナルティ判断
R11	ジグザグ行為 およびレーン チェンジ行為	<p>1番のカートのように直線部分でカートの幅以上に左右に蛇行することをジグザグ行為とします。 2番のカートから、1番のカートが離れている場合や2番のカートが追い抜くことが出来たとしても適用されます。</p> <p>特徴的な違反は以下のものです</p> <p>1,後方にあるカートの位置を目視で確認し、わざと走行ラインをずらしジグザグ走行によって抜かれないようにする行為</p> <p>2 レース中のコーナー進入時や立ち上がり、直線で意図的に走行レーンを変え、後方のカート進路を妨害する走行を一般的にレーンチェンジと言い、レース中の蛇行走行をジグザグと言います 呼び方としては、悪質なブロック走行と呼ぶ場合もあります</p> <p>※ニュートラリゼーション中も、ジグザグ走行は禁止されます。</p>		<p>軽度：白黒旗（警告）、同様の行為が繰り返される場合はヒート終了後3ポジションダウン</p> <p>重度：後方確認を行うなどの意図的、悪質なジグザグ行為は黒旗（ヒート失格）</p>
R12	カットイン コーナリング 時の走路妨害	<p>1番のカートが2番のカートの進路を妨害するようにコーナー内側に進路を変更することをカットインとします。 これは双方のカートが接触したか否かは関係ありません。</p> <p>2番のカートが1番のカートの少なくとも1/3以上（2番の前輪が1番の後輪より前）の位置にいた場合に判断されます。</p> <p>ペナルティの判断</p> <p>1番のカートがカットインの行為をした場合 2番のカートが順位を落とすか、またはリタイアした場合 2番のカートがダメージを受け同一ラップ中に順位を落とすかリタイアした場合</p> <p>※1番のカートが2番のカートの走行ラインを残し走行する場合はカットインと判断されません。</p>		<p>軽度：白黒旗（警告）、同様の行為が繰り返される場合は3ポジションダウン</p> <p>重度：意図的、悪質な場合は黒旗（ヒート失格）</p>

No	反則行為	解説	図解	秋ヶ瀬ペナルティ判断
R13	エッジイン 無理な突っ込み	<p>2番のカートが十分な隙間がないのに、1番のカートの内側に入っていくことをエッジインとします。</p> <p>※例：スタート時の混雑からの無理やりなライン取り、強引な追抜きの場合など。または適正な減速をする様子がない行為</p> <p>2番のカートの多くの部分が1番のカートのイン側にいる場合、または2番のカートが接触を回避するために部分的にコース外にいる場合は問題ありません。</p> <p>ペナルティの判断</p> <p>2番のカートがエッジインの行為をした場合 2番のカートが順位を上げた場合 1番のカートが順位を落とすか、またはリタイアした場合 1番のカートがダメージを受け、同一ラップ中に順位を落とすか、リタイアした場合等</p>		<p>軽度：白黒旗（警告）、同様の行為が繰り返される場合は3ポジションダウン</p> <p>重度：意図的、悪質な場合は黒旗（ヒート失格）</p>
R14	プッシュアウト 幅寄せ	<p>1番のカートがラインを変更して2番のkartを完全に、または部分的にコース外に追いやることをプッシュアウトおよび幅寄せとします。これは双方のカートが接触したか否かは関係ありません。</p> <p>2番のカートが1番のカートの少なくとも1/3以上（2番の前輪が1番の後輪より前）の位置にいた場合に判断されます。</p> <p>ペナルティの判断</p> <p>1番のカートがプッシュアウトの行為をした場合 1番のカートが順位を上げたとき 2番のカートが順位を落とすか、またはリタイアした場合 2番のカートがダメージを受け、同一ラップ中に順位を落とすかリタイアした場合 1番のカートが危険行為と判断された場合</p> <p>※1番のカートが2番のカートの走行ライン（車体1台分が基準）を残し走行する場合はプッシュアウトと判断されません。</p>		<p>軽度：白黒旗（警告）、同様の行為が繰り返される場合は5ポジションダウン</p> <p>重度：意図的、悪質な場合は黒旗（ヒート失格）</p>

No	反則行為	解説	図解	秋ヶ瀬ペナルティ判断
R15	プッシング後 方からの接触	<p>2番のカーツのフロントが1番のカーツのリア部分に接触することをプッシングとします。また、ストレート走行中やコーナリング中に前車を押し出す行為に関しても同様とします。</p> <p>下記「ペナルティの判断」を考慮した結果、2番のカーツが利益を得ない場合でも危険行為と判断された場合はペナルティの対象となります。</p> <p><対象となりやすいエリア> コーナーへの進入区間/旋回区間などの後方からの接触が危険なエリア</p> <p>ペナルティの判断</p> <p>2番のカーツがプッシングの行為をした場合 2番のカーツが順位を上げた場合 1番のカーツが順位を落とすか、またはリタイヤした場合 1番のカーツがダメージを受け同一周回中に順位を落とすかリタイヤした場合 2番のカーツが危険行為と判断された場合 ※1番のカーツが失速などによって起因した後部からの接触は、プッシングと判断しない場合があります。</p>		<p>軽度：白黒旗（警告）、同様の行為が繰り返される場合は5ポジションダウン</p> <p>重度：意図的、悪質な場合は黒旗（ヒート失格）</p>
R16	危険行為	<p>下記項目を危険行為とします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1,減速をせず、無理な進入速度で多重クラッシュを招く行為 2,走行ラインを残さず、危険なブロックによって相手をつぶす行為 3,コース上に停止してしまい、その後の対処に関してコースオフィシャルの指示に従わない場合 4,停止後にコース復帰する場合、後続車がいるにも関わらずドライバーサインも出さずに後続車通過前に再スタートした場合 5,事故停止カーツやコースアウトしたカーツを、放置し障害物とさせる行為 6,コース上から競技中にコースを横断したり、他者に物を投げる行為 7,コースを逆走し事故を招く行為 		<p>意図的、悪質な場合は黒旗（ヒート失格）</p>

No	反則行為	解説	図解	秋ヶ瀬ペナルティ判断
R17	ピットエリア違反行為 および ピットロード違反行為	<p>下記項目をピットエリア、ピットロードでの違反行為とします。</p> <p>1,ピットエリアに入るため、ピットロードを走行中に減速しなかった場合ピットロード徐行違反と判断されます</p> <p>2,ピットエリアに向かったが、エンジン停止をせずにコースに復帰した場合ピットスルー危険行為と判断されます</p> <p>3,指定ピットエリア外で作業したり、危険物を持ち込んだり、競技委員の注意を無視した行為、サインエリア外でのドライバー合図など、多くの場合がピットエリア違反行為と判断されます</p> <p>4,ピットエリアからの再スタート時、押しがけサポート区間を過ぎても、登録ピットクルーがサポートを継続した場合</p>		<p>軽度：警告、同様の行為が繰り返される場合はヒート失格</p> <p>また、ピットスルー危険行為と判断された場合は警告を経ず当該ヒート失格</p>
R18	スタート前の違反行為	<p>1,指定した時間内に、コースに入らなかった場合</p> <p>2,本コース上でスタートを待つ間、工具を用いた車両整備を行った場合</p> <p>3,赤旗中断後、競技委員から指示が出る前に、工具を用いた車両整備を行った場合、ケミカルを使用したり給油を行った場合</p> <p>4,レース終了後、検査を受ける前に不良箇所を修正した場合</p> <p>5,コース上からのスタート時、押しがけサポート区間を過ぎても、登録ピットクルーがサポートを継続した場合</p> <p>6,指定時間外のピットクルーのコース内への立ち入り(ローリング/フォーメーション開始10秒前までは立ち入り可)</p>	<p>※左記事項は、登録メカニックが行った行為でも、ドライバーに対しペナルティが課せられます。</p>	<p>1～5：ヒート失格</p> <p>6：赤旗中断、スタート進行仕切り直しの後当該車両はピットスタート</p>

No	反則行為	解説	図解	秋ヶ瀬ペナルティ判断
R19	その他の競技違反	<p>1,公式練習に参加する意思がなかった場合、当該競技除外とします</p> <p>2,競技委員に申告せず、無断で計測装置やエンジンを変更した場合</p> <p>3,ピット・パドックで火気を扱ったり、喫煙した場合 ※基本、火器の使用は禁止ですが、主催者に確認し認められる暖房器具の場合は問題ありません。 喫煙場所以外、特にパドックでの歩きタバコや整備中のくわえタバコが発覚した場合、その対象ドライバー、ピットクルー、メカニックに 1 回目は警告、2 度目の行為が発覚した場合はペナルティが入ります</p> <p>4,エンジン暖気場所以外で、エンジンのから吹かしを行った場合 ※ダミーグリッドでエンジン始動チェックは行えますが、暖気場所を設定したにも関わらず、その指定箇所以外でエンジンのから吹かしを行った場合、その対象ドライバーにペナルティが入ります。</p> <p>5,ドライバーズブリーフィング（ミーティング）を不参加した場合は罰金</p> <p>6,レース本規則や追加公式規則に関する事項を守らなかった場合</p> <p>7,記載なき新規の競技違反に関する事項を守らなかった場合</p>		<p>軽度：警告、同様の行為が繰り返される場合は競技失格</p> <p>重度：競技失格、又は競技施設からの退去指示</p> <p>※罰金は1万円とする</p>
R20	ドライバーモラル	<p>1,ドライバーサインを出さない場合</p> <p>2,競技役員、コース委員・オフィシャルからの指示を無視した場合</p> <p>3,走行中に、競技相手を挑発したり威嚇する行為をした場合</p> <p>4,他人への言葉による脅しや侮辱、暴力行為をした場合</p> <p>5,パドックでの常識外の場所取りや禁止区画への車両の乗り入れ</p> <p>6,競技の裁定や運営に対し、理由も聞かず、競技委員に怒鳴り込んできたり、暴言を吐くドライバーやエントラントの行為</p> <p>7,競技規則を読まず、理解せず、競技委員にクレームを入れる行為</p> <p>8,工具やケミカル用品を持って走行した場合</p>		<p>軽度：警告、同様の行為が繰り返される場合は競技失格</p> <p>重度：競技失格、又は競技施設からの退去指示</p>
	抗議	SL規則に準ずる		抗議料 ￥20,000-

本規則はSL規則、JAF規則と相違する部分がありますが、CAカートレースにおいては本規則を適用します。
また、本規則に記載されていない行為でも競技長の判断によりペナルティとする場合があります。